

平成30年度第7回九州厚生局地域包括ケア市町村セミナー

- 今回のテーマ 顔の見える日常の見守り支援について
～一人ぼっちの高齢者を無くすために～
- 目的 認知症施策については、新オレンジプランに沿って自治体ごとに多様な取り組みを推進していただいているが、それらの施策をより効果的にするのが「日常的な見守り支援」である。日常的にきめ細やかな見守りを実施することで、対象者のニーズや変化にいち早く気づくことができ、適切な施策やサービスに繋げることができる。
今回は、関係機関と連携しながら、日常的に顔の見える見守り支援を実施し、各種施策やサービスに繋いでいる事例を紹介する。
- 対象 市町村職員、社会福祉協議会職員、認知症地域支援推進員 等
(県庁職員、関係機関等の傍聴可)

■ プログラム

【第7回 平成31年1月25日(金)】長崎県庁1階 大会議室A・B
※長崎県共催 (長崎県長崎市尾上町3-1)

①開会挨拶	13:00～13:15	【九州厚生局】【長崎県】
②事例報告	13:15～14:15	【NPO栄町地域づくり会】 「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して ～支え合いによる心温まるまちづくり～」 (※報告50分、質疑応答10分)
③事例報告	14:15～15:15	【益城町地域支え合いセンター】 「普段からの地域とのつながり ～震災発生から復旧・復興期の見守り支援をとおして～」 (※報告50分、質疑応答10分)
④グループ討議	15:25～16:50	
⑤連絡事項	16:50～17:00	